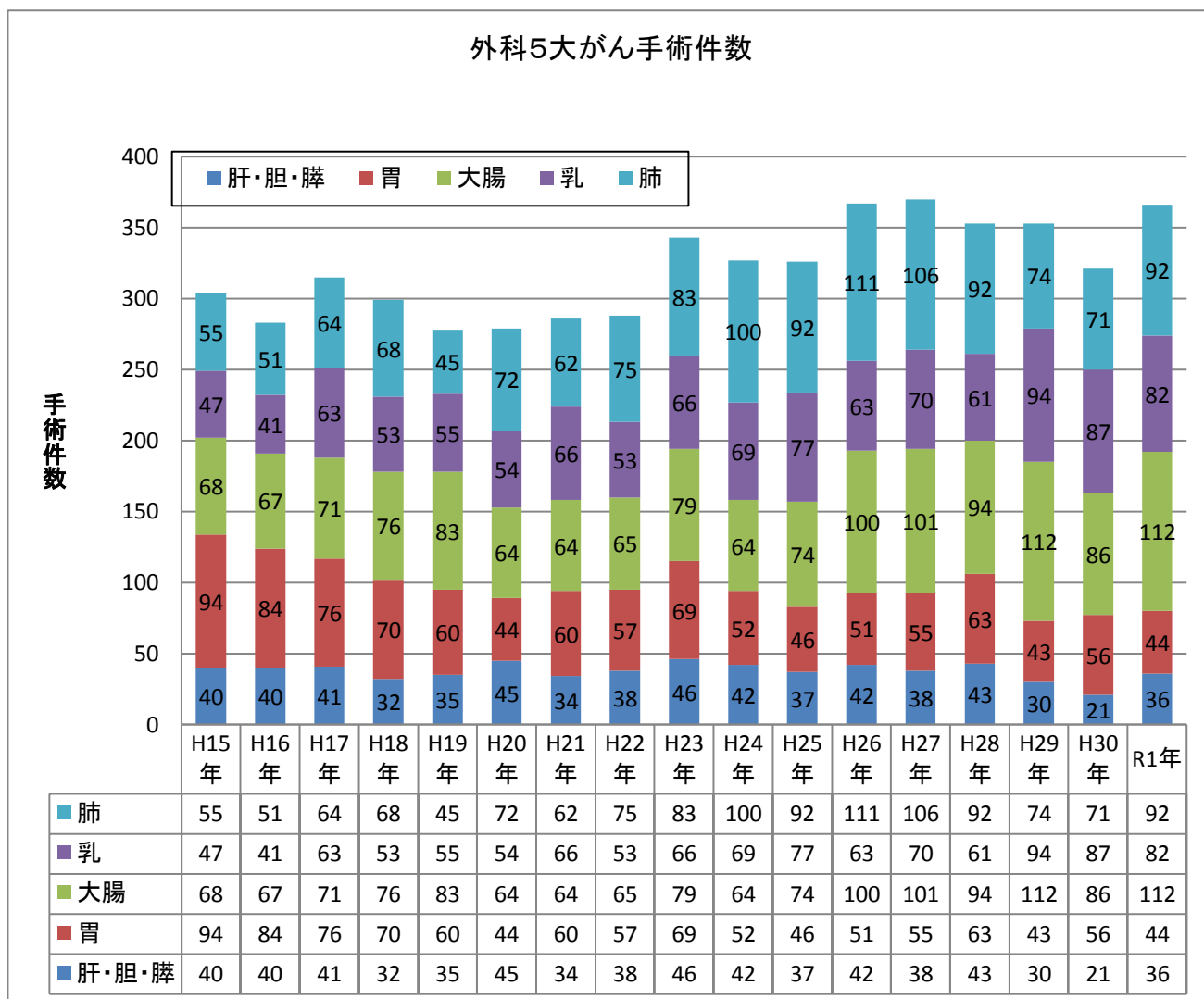


がん手術件数：外科5大がん手術件数



【解説】

・グラフは平成15年から平成30年までの当院で手術を行った5大がん、肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、肝・胆・膵がんの症例数の推移です。肺がんは平成26年には増加しましたが、近年減少傾向です。胃がんは手術件数が減少してきていますが、消化器内科医による内視鏡的粘膜切除で治ってしまう症例が増加したためです。生活様式の欧米化に伴い日本でも大腸がん、乳がんが増加してきており、当院でもその傾向があります。